

かながわ子ども教室

ニ ュ ー ス 第96号

かながわ子ども教室

松下 恵造

新型コロナの感染状況は、勝浦会員から定期的に報告いただいている定点把握の数値（1 医療機関当たりの患者数の平均値）では、9月のピーク以降減少転じて11月にはボトムになっていますが、子ども教室の活動は方針通りに、ウイズコロナの考え方で教室開催先と共に感染防止に配慮し開催してきました。教室の開催は7月（17回）と8月（20回）に集中し、またその間に会員のコロナ感染も有りましたが、皆様のご協力により何とか乗り切ることができました。

9月に報告しました教室開催（実績+予定）は95回でしたが、12月15日までの開催実績は76回となり、3月末までの開催予定の35回を加えると111回の見込みとなります。今年度の目途とした開催数（年間118~125回）に少しでも近づくことを願っています。

当教室が参加してきた2大フェスタのうち、「ねんりんピックの協賛イベント」への参加は昨年度の「かながわ大会」で終了することにしました。「川崎市青少フェスティバル」については、昨年度は川崎市の企画内容に合わなかったため不参加となりましたが、本年度は川崎市からの要請により参加します。本年度の同フェスティバルのテーマは「ゆめまつり」で、「夢」と「祭り」の要素を掛け合わせ、キラキラわくわくしたお祭りを目指しているとのこと。当教室には「気象」教室の中から「雲づくり実験」と「ひかりと色」教室の中から「ぶんぶんゴマ」工作を要請されましたので、それぞれに「雷発生装置での雷放電」、「ひかりの三原色（赤緑青）の重ね合わせ実験」を追加して参加する計画です。2024年3月10日（日）に川崎市とどろきアリーナにて開催されます。

当教室で開催している各教室の内容紹介については、皆様の努力の積み重ねにより「教室パンフレット」の内容を解りやすく充実させ、またホームページで「動画による教室紹介」も開始されましたので、開催先のご担当との情報交換が効率良く行われるようになったと思います。またパンフレット作製でルールファイル方式の採用により、改訂と差替えが容易になりコストダウンを図ることができました。ただし、ルールファイル方式では、印刷済みページの自前での保管~製本に多少の手間が掛かります。また、県民センターの当教室ロッカーからのパンフレット任意取出しの管理（持ち出し後の残数確認と記録）には会員の皆様のご協力が必要ですので、よろしくお願ひします。